

## 校長室だより

夢に向かって共にがんばる児童の育成

児童数 343 名 No. 2

令和4年4月15日 文責 校長 城戸 幸一

## 新1年生 54名 入学おめでとうございます。

4月12日(火)54名の新1年生と保護者の方を迎えて、入学式を実施することができました。新型コロナウイルス感染症拡大防止により、6年生の代表2名を除いて、在校生の参加を見送りましたが、新1年生は、保護者の皆様と一部の職員に見守られ、緊張の中にも嬉しそうな表情を見せていました。保護者の皆様には、式への参加に際しまして、検温や、マスクの着用、人数制限、換気等の対応にもご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

式の中では、中島副町長様、材木教育委員様からあたたかい励ましの言葉やご祝辞をいただきました。また、校長からは、こんな子どもになってほしい3つのお願いとして「①学校のルールやマナーを守って誰とでも仲良く助け合う子ども②勉強を一生懸命する子ども③根気強くやりぬく子ども」といった話をさせていただきました。東脊振小学校職員一同、保護者の皆様と手を携え、地域の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、教育活動の充実を図っていきますので、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



## 交通安全とあいさつ



4月6日(水)～15日(金)までは、春の交通安全県民運動でした。学校では、学期はじめの1週間、職員が学校近くの危険箇所4か所に立ち、登校指導を行いました。安全に登校でき

ているか見守ると同時に、あいさつの声かけを行います。私も、正門のところに立ち、あいさつの声かけを行っています。「おはよう」と元気にあいさつしてくれる子、少しはづかしそうに「おはようございます」と言ってくれる子、丁寧に頭を下げってくれる子など、あいさつの形は様々ですが、子供たちが、友達、先生、地域の方とあいさつをかわし、気持ちのいい一日をスタートしてくれたらと思っています。

また、先日は、学校の正門前の横断歩道のところに、防護柵(左の写真の黄色い杭)が設置されました。これは、横断歩道の所で待っている子供たちに、万が一車が突っ込んできた場合に、子供たちの命を守るようにと吉野ヶ里町から設置していただいたものです。この黄色い杭は、町全体で、子供たちを交通被害から守る印のようです。でも、見守りや安全対策と同時に大切なのは、子供たち自身の意識だと思っています。事故にあわないように交通ルールを守り、自分の命を自分で守れるような力を、保護者の皆様のご協力を得ながら、育てていきたいと思っています。

## 基本的な感染症対策

新型コロナウイルス感染症については、第6波が収束することなく、高止まりの傾向にあります。この状況が早く収まってほしいとみんなが思っているところですが、私た



ちにできることは、基本的な感染症対策の継続です。放課後は、教職員も校内の消毒を行っております。子供たちも、不自由だと思いますが、感染を防ぐために、マスクの着用、手洗い、換気、距離をとるといった感染症対策を引く続き、がんばってもらっています。ご家庭でも、登校前の健康観察、検温により、発熱等の症状がある場合は、登校を控えていただきますよう、引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 登下校時の送迎について（お願い）

東脊振小では、日頃の登校について基本的には、雨天時であっても徒歩での登校を指導しています。登校班で歩いて学校に来ることは、安全面はもちろん異学年で協力する態度・心情、雨の日や雪の日などでも歩いてくことで生活の知恵を学び、がまん強さなども育むことができ教育的意義も深いと考えています。

これまで車で送迎される様子を見てみると、道路を横断する子供と車が交錯し、大変危険な状況が度々見られました。そこで、昨年度末にもお願いしましたが、やむを得ず車で送迎される場合は、子供の安全を確保するために、下図のように、東側（中学校側）から来ていただき、385号線の方へ走行していただくようお願いします。

また、登校時間帯の中学校敷地内でのUターンも車と生徒の自転車車が交錯し、大変危険ですので禁止とさせていただきます。なお、病気や怪我での送迎はこの限りではありません。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

